

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 北海道特別支援学校へのフットサル巡回指導活動報告

- 報告者 吉田 順 省
- 報告期日 平成 29 年 11 月 6 日
- 実施校 北海道札幌稲穂高等支援学校
- 巡回指導者 吉田 順 省、市場 大 資
- 当該校担当教諭 門 間 大 樹 教諭
- 実施日 平成 29 年 10 月 28 日（土）
- 実施日程 10：00 ～ 12：00 サッカー部（1.2.3 年生 O.B 19 名）部活動

○実施概要

生徒の障がいの程度は軽く、知的も高い生徒さんが多くコミュニケーションが取りやすく明るい生徒さんでスムーズな進行でフットサル指導が出来ました。

実施内容としましては、部活動でサッカーをやられている生徒さんやサッカー部の O.B がいましたが、フットサルに興味を持たれている初心者の方もいましたのでフットサルの特徴を織り交ぜた基礎となるドリブル、パス、シュートとシンプルなセクションで楽しくゲーム性のあるものを行いました。最後には試合を行い、皆さんから笑顔が溢れて楽しい雰囲気の中フットサル指導を行うことが出来ました。最後には仲間と協力して何かを実現させる、成功させる、仲間を応援するなど「チームワーク」、そスポーツを行う「楽しさ」、また今後の人生において余暇活動の一環としてフットサルをはじめ、スポーツを取り組んでもらい「心と体の健康」というテーマを今回のフットサル指導を通じて伝える為に巡回指導を実施させて頂きました。

生徒の皆さん、とても明るく積極的に、またお話を聞く態度がしっかりしており有意義なフットサル授業を実施することが出来たと感じております。



○自己評価及び今後の課題等

今回の巡回指導では、サッカー部、O.B、そして初心者と様々な方とのフットサル指導となりましたが、参加された皆さんからも笑顔が見られて明るく楽しいフットサル指導が行えたと感じております。

前回同様にフットサルに限らず、スポーツを行う事で今後「心と体の健康」が大切になると伝えさせて頂きました。

高校を卒業して社会に出るといろいろなことがある中、運動・スポーツを行う事で健康的で精神的にも強く生きていけると私は強く感じているので、今回も指導の最後に、このことについて強調してお話させて頂きました。

稲穂高等支援学校の生徒さん、O.Bの皆さんが今後、スポーツを続けて行ってくれたらと願っております。

また、明日佳近隣の学校ということもあり、実習生の受け入れも多い学校でもあるので生徒さんはじめ、顧問の先生の皆さまともフットサル以外のお仕事の面のお話も出来ました。

アスカラーダのことも知られている方もおられたので、当財団活動と同時に施設でのフットサル活動にも力を入れていき、「仕事とフットサルの両立」ということも売りになる施設になる為の魅力的な存在になればと感じました。今後の活動の仕方なども少しずつ考えていかなければと感じております。

当財団の2回目の活動となりました。大きな怪我もなく楽しい雰囲気の中でフットサル指導が行えたと感じておりますが、これに慢心することなく、道内の支援学校の生徒さん、親御さん、先生の皆さんにフットサルを通じて楽しく、今後繋がる時間を過ごして頂けるよう、「小野寺眞悟財団」の指導担当者として、活動してまいりますので今後もよろしくお願い致します。